

科目名	海外文化体験			ナンバリング	COM341	授業形態	実習
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	小池久恵	担当教員					

授業の概要	ロンドン・オクスフォード・ストラトフォードを中心にイギリスの歴史・社会・文化に触れ、さまざまな芸術(美術・文学・演劇・映像)を研修します。受動的な体験ではなく、各自が海外文化研修に関するテーマ(具体的な課題・目標)を持ち、積極的・主体的に行動することにより、異文化に関する知識と理解を深める。						
到達目標	1.事前研修、現地での活動、事後研修を通し、体験的に異文化に関する知識と理解を深める。 2.イギリスの歴史・社会・文化に関するフィールドワークのテーマを設定し、主体的に行動することができる。 2.英語圏での研修の中で、できるだけ英語の運用力を発揮し、自律的な英語学習者の意識を高める。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	安全で有意義な研修をおこなうためには事前の十分な準備が必要となる。「事前研修」には必ず出席し、知識・情報・各自の研修テーマを携えて研修にのぞむこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	<input type="radio"/>	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	<input type="radio"/>	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	<input type="radio"/>	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	<input type="radio"/>	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	<input type="radio"/>	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①「海外文化体験」履修のために必要な知識・情報を整理することができる。 ②海外文化を自律的に体験するためのテーマを設定することができる。 ③「現地での活動」を記録し、体験の内容をまとめることができる。	①「海外文化体験」履修のために必要な知識・情報を身につけ、さらに参考文献等で内容を深めることができる。 ②フィールドワークのテーマを設定し、有意義な実践のための詳細な計画を立てることができる。 ③「現地での活動」の記録から、テーマ・論旨を明確にしたレポートにすることができる。

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		30%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○			70%

課題、評価のフィードバック	「事前研修」の課題については毎回授業時に、「現地での活動」中は滞在時のミーティングで、また「事後研修」ではmanab@によりフィードバックをおこなう。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	事前研修(1)	日程、費用等を含む研修の基本的情報及び研修の意義と目的を説明する。	
	第2回	事前研修(2)	イギリスの歴史や文化の主な特色を説明する。	
	第3回	事前研修(3)	イギリスの社会構造・生活習慣等の主な特色を説明する。	
	第4回	事前研修(4)	「海外文化」に関するフィールドワークのテーマを設定する。	
	第5回	事前研修(5)	現地でのフィールドワークの計画を練り、具体的な活動内容を説明する。	
	第6回	現地での活動(1)	ロンドンの歴史的要所を訪ね、歴史・文化の諸相に触れる。	
	第7回	現地での活動(2)	主要な博物館・美術館での研修を通して芸術研修をおこなう。	
	第8回	現地での活動(3)	劇場での演劇研修を通して演劇文化を体験する。	
	第9回	現地での活動(4)	ワトフォードの「ハリー・ポッター・ワールド」での文化研修を体験する。	
	第10回	現地での活動(5)	オクスフォードでの郊外研修を通してイギリス古都の歴史文化を体験する。	
	第11回	現地での活動(6)	ストラトフォード・アポン・エイヴオンを訪ね、シェイクスピア・カンツリーの歴史文化を体験する。	
	第12回	現地での活動(7)	歴史をテーマにした個別のフィールドワークを実践する。	
	第13回	現地での活動(8)	芸術文化をテーマにした個別のフィールドワークを実践する。	
	第14回	事後研習(1)	研修日ごとの活動内容をまとめて発表する。	
	第15回	事後研習(2)	テーマ別フィールドワークの成果を発表する。	
	試験			
授業の進め方	「事前研修」の初回に説明する。			
授業外学習の指示	研修項目に関し事前に調べ、配布資料を読んで確認しておくこと。 研修・活動ごとに内容を振り返り、日誌にまとめておくこと。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	「事前研修」時にプリントを配付する。「英米文化概論」(参加希望者には履修を推奨)の授業で配付されるプリントも参照のこと。
参考書	必要に応じて紹介する。
参考URLなど	
その他	旅費は各自負担、実施時期は2月中旬から下旬の予定。履修者は後期間中に行われる前研修に必ず出席すること。事前研修の日時等は後期ガイダンス時に説明する。